

先取り!

新学習指導要領 How to 白地図まとめ

## 工業製品はどこから？



奈良教育大学 教授 岩本 廣美

新学習指導要領（平成29年告示）の小学校社会では、「地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること」という内容が繰り返し記されています。これにかかわって、5学年の工業に関する単元で示されている「交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること」に対応する学習活動の展開事例を述べてみます。ここでは『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（以下、地図帳）を活用します。

ここでの「表現」の一つの方法として、日本が世界各国からどのような工業製品を輸入しているかを調べ、その結果を世界の白地図に表すことが考えられます。

## 統計に着目しよう

地図帳p.75「世界の国別統計」の「日本との貿易」には、日本との輸出入の金額および主要な品目が、国ごとに記載されています。日本が各国からどのような物を輸入しているかは、「日本への輸出」の欄を見ることで調べることができます。

例えば、アジア州の国々の金額欄を見ると、中国が最も多いことがわかります。品目の欄にある、電気機械、一般機械、衣類などはどれも工業製品です。中国から日本が輸入している電気機械の代表的なものは半導体などの電子部品や冷蔵庫などの家電製品です。一般機械は、コンピュータやポンプ・ボイラーなどのことです。私たちの身のまわりにあるこれらの中には中国製のものが多く見られます。衣類は、下着類やセーターなど私たちが身につけているものを確認すると中国製のものが数多く見つかります。近年はベトナム製

の衣類も多く見かけます。

北アメリカ州では、アメリカ合衆国の金額が最も多く、日本が輸入している工業製品に航空機のある点が特徴的です。地図帳p.63では、ワシントン州で「飛行機」の絵を見つけることができますが、ここでつくられたものが日本にも輸入されているとみることができます。

このようにして、日本が工業製品を多く輸入している国を各州から2か国探すと、アジア州では中国と韓国を、ヨーロッパ州ではドイツとフランスを、北アメリカ州ではアメリカ合衆国とメキシコなどを見つけることができます。また、アフリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の国々からの輸入品目は、農産品や鉱産・エネルギー資源が多いこともわかります。

## 白地図に表現しよう

工業製品の輸入状況を白地図に表現するためには、完成イメージとして、地図帳p.71の主題図②「日本のおもな輸入相手国・地域とおもな輸入品」を参考にすることができます。この主題図は、工業製品のほか、食料品および原・燃料を含めたすべての輸入品目を扱ったものですので、工業製品に焦点化させた地図にする必要があります。

想定される進め方は次のとおりです。

- 1 世界の白地図を用意する。個別の活動とグループの活動とでは、用意する地図の大きさが異なります。
- 2 統計で各州から日本への輸出額が多く、かつおもな輸出品として工業製品があげられている2か国を探し、白地図上で国の輪郭をなぞる。
- 3 輸入品目の用語または絵をそれぞれの国のところに書き入れ、日本と線で結ぶ。

■白地図を活用した作業をグループで取り組む場合に想定される手順を以下にまとめてみました。

**1白地図の用意**：今回は、帝国書院指導者専用サイトから無料でダウンロードできるエケルト図法の白地図を使用します。これは地図帳p.71の主題図と同じ図法のもので、グループで調べた結果を表すには、A3判の地図を用意し、児童が個別で活用する際には、A4判のものを別に用意するとよいでしょう。

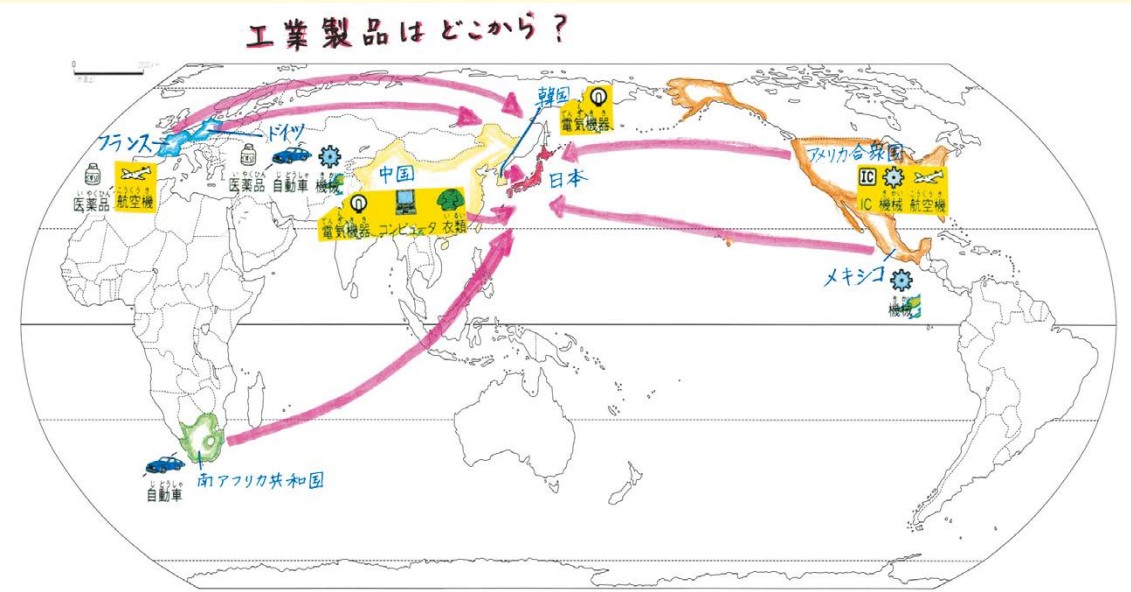
**2国を探す**：4名からなるグループで取り組む場合、分担例として、①アジア州、②ヨーロッパ州、③北アメリカ州、④南アメリカ州、アフリカ州、オセアニア州が適当でしょう。①②③は各州から2か国ずつ選択することが適当ですが、④は統計から探すことが困難なため、地図帳p.71②の主題図から工業製品を輸出している国を探しましょう。各州から2か国（④は南アフリカ共和国のみの1か国）を探すことができたなら、それぞれの国の位置を地図帳で確認することが必要です。このときに、地図帳p.84～86「世界の国々」を使うとよいでしょう。2か国が見つかったら、各児童

の手元にあるA4判の白地図上で、それぞれの国の輪郭をなぞる作業をしましょう。次にグループで共有するA3判地図に転記します。このときに州別に色分けしてもよいでしょう。

**3日本と結ぶ**：それぞれの国から輸入している品目名を、各自の地図上でそれぞれの国またはその付近に書き入れましょう。次に、A3判の共有地図に転記しますが、この際、アメリカ合衆国の飛行機のように地図帳にイラストがある場合は、そのイラストを貼りましょう。担任の先生がイラストの拡大コピーを用意すれば、児童はそれをはさみで切り抜いたものを貼り付けることができます。最後に、日本を赤くぬり、それぞれの国と日本を線で結べば完成です。

日本の輸入品のうち工業製品に焦点化し作成した図は、メキシコなど大国ではない国が浮かび上がる利点があります。また、自動車を例に、日本製があるのにわざわざ輸入する理由は何か、という問題をグループで話し合う活動を促す可能性も秘めています。

### ■作品例



今回使用した白地図と絵記号シート（地図帳の絵記号をまとめたもの）は、指導者専用サイトに掲載しています。今回の白地図まとめだけでなく、2018年度1学期号同コーナー「スーパーマーケットの品物はどこから？」にもお使いいただけます。ぜひ、ご活用ください。

**注目!**